

市議会

\ 伊勢崎のさがわかる /

いせさき

第3回
定例会

No.78

2020.7.16

令和2年度伊勢崎市一般会計補正予算など24議案を可決

- | | |
|------------|--------------|
| 2 定例会の概要 | 11 議案の議決結果 |
| 2 主な議案の概要 | 12 顕彰・表彰受賞 |
| 3 一般質問 | 12 政務活動費収支報告 |
| 10 常任委員会審査 | 12 各種お知らせ |

石山観音の大鰐口わに(群馬県指定重要文化財)

市長から提出された議案 22件

- 条例関係 10件
- 補正予算 3件
- 人事案件 4件
- その他 5件

議員から提出された議案 2件

●6月9日 本会議

- ・ 会期決定（6月25日までの17日間）
- ・ 会議録署名議員の指名
- ・ 永年在職特別功労議員顕彰式
- ・ 市長提出議案（伊勢崎市議会議員及び伊勢崎市長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例案など17件）の提案理由の説明
- ・ 議案に対する質疑
- ・ 所管の常任委員会に議案の審査を付託

●6月10日 本会議

- 一般質問（質問者：議員7人・答弁者：市長、教育長及び所管の部長）

●6月11日 本会議

- 一般質問（質問者：議員7人・答弁者：市長、教育長、病院事業管理者及び所管の部長）

●6月15日 総務委員会

- ・ 議案の審査 6件
- ・ 所管事務調査

●6月16日 文教福祉委員会

- ・ 議案の審査 3件
- ・ 所管事務調査

●6月17日 経済市民委員会

- ・ 議案の審査 3件
- ・ 所管事務調査

●6月18日 建設水道委員会

- ・ 議案の審査 5件
- ・ 所管事務調査

●6月25日 本会議

- ・ 全国市議会議長会表彰状伝達式
- ・ 常任委員会の委員長から審査結果の報告
- ・ 市長提出議案（伊勢崎市小口資金融資促進条例の一部を改正する条例案など5件）の提案理由の説明
- ・ 議員提出議案（市議会政務活動費の特例に関する条例案など2件）を上げ
- ・ 議案の審議（結果は11ページに記載しています）

主な議案の概要

伊勢崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例案

国民健康保険被保険者のうち、新型コロナウイルス感染症に感染した又は感染の疑いがある被用者に対し傷病手当金の支給を行うことに伴うものです。

伊勢崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例案

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が著しく減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免申請書の

提出期限の特例を定めること及び関係法令の一部改正に伴うものです。

令和2年度伊勢崎市一般会計補正予算（第2号）

新型コロナウイルス感染症に対応する事業費の追加や、イベント等の事業中止による事業費の減額及び国庫補助金の内示に伴う補正が主なもので、歳入歳出予算にそれぞれ7億6534万4000円を追加し、その総額を969億6871万円とするものです。

内容は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に関連する各事業の追加や、学校施設環境改善交付金の内示による宮郷中学校プール改築事業等の追加のほか、議会費の件費及び旅費の減額並びにイベント等の事業中止に伴う観光事業等の減額が主なものです。また、これらに関連して地方債の補正を行うものです。

令和2年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計補正予算（第1号）

学校給食用食材の納入事業者に対し、学校臨時休業期間中に納品できなかった食材の費用を支出することに伴う補正で、歳入歳出予算にそれぞれ758万5000円を追加し、その総額を21億5388万1000円とするものです。

令和2年度伊勢崎市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

新型コロナウイルス感染症に感染す

るなどし、労務に服することができなくなった被用者に対し、傷病手当金を支給することに伴う補正で、歳入歳出予算にそれぞれ2000万円を追加し、その総額を194億6059万9000円とするものです。

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型の取得について

群馬県緊急消防援助隊の登録車両として、大規模災害発生時に近隣都県へ応援出動を行う消防自動車と位置づけられるものです。

- ・ 数量 1台
- ・ 取得予定価格 5494万5000円
- ・ 契約の相手方 株式会社モリタ東京支店



特殊水槽付消防ポンプ自動車

災害対応特殊救急自動車の取得について

- ・ 数量 1台
- ・ 取得予定価格 3619万円
- ・ 契約の相手方 群馬日産自動車株式会社伊勢崎連取店

問 市長4期目への挑戦は

答 全身全霊で市政を担当する決意です

市政運営について

問 3期12年間の総括として、政策を実施するにあたり心がけてきたことは。

答 市民の皆様との約束としてマニフェストに掲げた、福祉・地域医療の充実、地域経済の活性化、安心、安全なまちづくり、教育・スポーツ・文化の振興及び行政改革の推進、この5本の政策を職員とともに一丸となつて着実に押し進めてきました。市民の皆様の視点に立った、分かりやすい市政運営を念頭に置き、様々な課題に真摯に向き合い、市民の皆様の声に耳を傾けながら、地域の事情に即した実効性の高い政策を展開してきました。

政策に対する成果は。

問 本市の人口は21万人を下回ることなく推移しており、市民意識調査では住みよいためとどちらかと言えば住みよいと感じる人の割合は、年々増加傾向にあり、ここ3年間では70%以上の値で推移しています。このような状況は、マニフェストに掲げた全ての政策をバランスよく実施でき、元気で豊かなそして安全な伊勢崎市が実現されていることの証だと確信しています。

問 直面する課題への対応を踏まえて市長統投の意思、4期目への挑戦は。



伊勢崎クラブ
野田 文雄

答 現在直面している最重要課題は、新型コロナウイルス感染症対策です。

この課題を解決するためには、感染症の拡大防止に加え、市民や事業者の皆様への支援を通じて、暮らしの安全や経営の安定を図らなければなりません。感染症の終息や経済の再生には、長期的な対策を講じる必要があります。私は市長就任以来、世界的な危機や災害に対応してきた経験を生かし、来年以降も、全身全霊で市政を担当する決意をしました。市民の皆様が将来に向け安心して暮らせるよう、ふるさと伊勢崎を元氣な姿に戻す、この使命を全うすることをお約束し、来年1月の市長選挙への立候補の決意表明とさせていただきます。

その他の質問

●四ツ葉学園中等教育学校について



元気で安全な伊勢崎市の実現を

問 子供たちの心のケア対策は

答 一人一人の心に寄り添った指導を行います

小・中・中等教育学校における新型コロナウイルス対策について

問 子供たちがマスク着用で夏を乗り切るための熱中症対策は。

答 児童・生徒に対してこまめな水分補給や体育の授業におけるマスクの着脱指導、熱中症になりにくい体づくりについての指導をきめ細かく行うよう、各学校に指導しています。また、エアコンの適切な活用により、教室の環境を整えるようにしています。

問 子供たちへの心のケア対策についての考えは。

答 学校が再開し、子供たちは新しい生活様式を取り入れることにより、生活面や学習面での不安やストレスを抱えることが考えられますので、教師が児童・生徒一人一人の心に寄り添った指導を行うとともに、スクールカウンセラーや相談員の活用、学校外の相談窓口の周知、保護者との連携等、きめ細かな指導を行い、不安やストレスの軽減に努めていきます。

問 特別支援学級の子供に対しての心のケア対策は。

答 担任や養護教諭を中心に健康観察や健康相談を行ったり、心身の状態を的確に把握したりしながら進めています。

華蔵寺公園遊園地について

問 いせさき花火など、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止が決定しているイベントがあるが、華蔵寺公園開園50周年記念イベントは。

答 本年5月に開催する予定で準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休園により、延期しました。今後は、状況を見ながら、来場される皆様が安心して楽しんでいただけるイベントを本年度内に開催できるよう調整していきます。

その他の質問

●市税及び水道料金支払いにおける電子マネーの導入について



子供が元気に学べる環境を



問 高齢者へのごみ出し支援の効果は

答 安否確認による見守り効果と認識しています



伊勢崎クラブ 須永 聡

高齢者等支援のための家庭ごみ戸別収集について

問 ごみ出し支援導入による効果と課題は。

答 効果としては、高齢者等世帯の利便性の向上や福祉の充実が挙げられ、また、導入方法によっては、安否確認をすることによる見守り効果があると認識しています。戸別収集の方法は、自治体の職員による直営収集、事業者への委託収集及び自治会、特定非営利活動法人、地域ボランティア等の支援団体に対する金銭的支援などがあります。課題としては、予算、人員や収集車両の確保及び支援体制の確立等が挙げられ、本市では、職員による直営での収集は困難であると考えています。

問 国が市町村に、特別交付税を活用したごみ出し支援を呼びかけているが、導入の考えは。

答 本市では、地域福祉活動計画の地域支え合い活動の推進としてごみ出し等の日常生活をサポートする仕組みを掲げています。国の支援については、関係部署による話し合いを進めた上で、調査研究していきます。

新型コロナウイルス第2波以降を見据えた対策について

問 軽症者の宿泊施設として確保している市内の室数は。

答 県が確保する軽症者の宿泊施設の室数は、2施設で約200室です。

問 本市の事業継続計画（BCP）の考えは。

答 平成21年に策定した新型インフルエンザ等対策に係る伊勢崎市業務継続計画に基づき、新型コロナウイルス感染症についても運用してきました。

問 今回の新型コロナウイルス感染症対策では、感染リスクを少なくするための分散勤務や在宅勤務などを導入したため、それらの業務継続体制の検証を行った上で、感染症に係る新たな業務継続計画を策定していきます。

その他の質問

●避難所について



高齢者へのごみ出しの支援を

問 子供の学力の差への対応は

答 個別の支援を進めていきます



伊勢崎クラブ 栗原 真耶

新型コロナウイルス感染症の影響について

問 長期間の家庭学習のため、家庭環境、経済状況により子供の学力の差が開いたと考えられるが、対応は。

答 児童・生徒一人一人の学力の定着状況を丁寧に確認しながら指導を進めていきます。また、一人一人の学習内容の定着に向けた指導方法の工夫、改善を通して、子供の学びの保障に努めていきます。学習内容の定着が不十分な児童・生徒に対しては、別途、補充のための授業や個別に補習を実施するなど、児童・生徒に過剰な負担とならないよう配慮した上で、個別の支援を進めていきます。

問 子供たちの健康状態を平時のように戻すことが必要だが、給食での栄養の補い方をどう考えるか。

答 成長期である児童・生徒の栄養を確保するため、1日に必要な栄養素の3分の1を基準として学校給食摂取基準が定められていますが、日頃から不足しやすい栄養素であるカルシウムなどは学校給食で補うために基準が高く定められており、毎月の献立作成に生かし給食を提供しています。

問 中止になった乳幼児健康診査を再



高齢者が生き生きと暮らせる取組を

問 卸売市場の土地及び建物活用の考えは

答 余剰施設を含めた活用方法を検討します



伊勢崎クラブ 細谷 泰治

伊勢崎地方卸売市場について

問 新型コロナウイルスの影響という条件の変化も踏まえ、改正卸売市場法施行に伴う所有者としての市の課題認識は。

答 本年6月21日施行の改正卸売市場法では、要件に適合するものは、県知事の認定を受けて、地方卸売市場と称することができると規定されています。本市と株式会社伊勢崎地方卸売市場で締結している市有財産無償貸付契約に基づいて、土地及び建物等を地方卸売市場として使用していることから、認定に向けて協議し、手続を進めています。また、新型コロナウイルス感染症による影響も考えられることから、運営状況について一層の情報共有に努めていきます。

問 新型コロナウイルス後に市場経由がさらに縮小を余儀なくされると推測できるが、卸売市場の土地及び建物活用の考えは。

答 今後の卸売市場の運営において真に必要な土地や施設の規模について、株式会社伊勢崎地方卸売市場と協議、検討を進めています。今後は、市場外流通の増加や新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小し、施設に余剰が生じることも考えられます。その場合には、必要に応じて第三者から意見聴取を行い、余剰施設を含めた活用方法も検討していきます。

その他の質問

●環境政策について



安全で安定的な食料品の供給を

問 合科的な指導についての考えは

答 効率的で効果的な指導を行うよう指導します



伊勢崎クラブ 藤生 浩二

緊急事態宣言解除後における学校再開後の対応について

問 今後の授業には多くの工夫が必要とされるが、関連して勉強することにより理解が深まる合科的な指導についての考えは。

答 学習内容を意図的、計画的に関連づけた合科的な指導により、児童・生徒は、複数の教科で学んだことを活用し、学んだことを広げたり、考えを深めたりすることができると考えます。各学校では、休業に伴い授業数が削減された中でも、児童・生徒の実態に合わせて、合科的な指導を既に取り入れています。学校に対しては、教育課程を見直す際に、合科的な指導という視点を持ち、さらに効率的かつ効果的な指導を行うよう今後も指導していきます。

その他の質問

●道路上における子供たちへの対応について



学びの環境の充実を



問 ICT活用をどう検討するか

答 段階的に端末の活用の研究を進めていきます

学校ICT教育環境整備及び授業動画配信・オンライン授業について

問 ICT教育環境整備の現状と調査状況は。

答 本市ではこれまで、ICT機器を計画的に整備してきました。現在、学習用コンピュータを小中学校に計1733台、タブレット端末を小中学校に計337台設置しています。本年度は、国のGIGAスクール構想に向けた事業に申請し、児童・生徒の3分の2に当たる数の情報端末を整備し、令和4年度末までに児童・生徒1人に1台の端末を整備する計画を進めています。なお、端末の整備は、県との共同調達も視野に入れて進めていくことから、ソフトウェアも含めた仕様等については今後検討していきます。また、端末を活用した家庭学習の今後の参考とするため、各家庭におけるインターネット環境の調査を実施する予定です。

問 ソフトウェアの整備について検討している内容は。

答 子供たちが知識を獲得し活用できるような仕組み、交流したり表現したりできる仕組み、それらを支援する仕組みを検討するために、今年度は中学校、来年度は小学校をモデル校として指定し、研究したいと考えています。



子供たちの意欲を促進する環境を

その他の質問

●庁舎内業務のテレワーク等について

問 GIGAスクール構想の実現を踏まえ、ICT活用をどう検討するか。

答 国のGIGAスクール構想に向けた事業に申請し、1人に1台の端末の整備後、伊勢崎市学校教育情報化推進計画に従い、段階的に端末の活用を推進していきます。本年度、中学校1校をICT活用推進モデル校とし、市全体での活用に向け、学習指導上の課題と対応策を明確化したいと考えています。授業動画等の有効性についても段階的に検証していきます。今後は、子供たちのわかる、できる、もっと知りたいを促進し、子供たち一人一人に個別最適化された学習を実現するため、段階的に端末の活用について研究を進めていきます。



伊勢崎クラブ 佐藤 智則

問 消防機関の感染防止対策の今後の対応は

答 救急車内の除染システムを導入予定です

新型コロナウイルス感染症について

問 消防機関における感染防止対策の現状と今後の対応は。

答 現状は、総務省消防庁の感染防止対策マニュアルに基づいて、救急隊員は、出勤時から手袋、マスク、感染防護衣、ゴーグルの着用を徹底し、傷病者や付添の家族にもマスクの着用をお願いしています。搬送中は、車内の換気を行い、搬送後には、その都度エタノール等を使用した車内消毒を行っています。今後は、救急車内の除染システムとして導入を予定しているオゾンガス発生装置を、管内全ての消防署に整備することにより、できる限りの感染リスク低減に努めていきます。

問 医療的ケア児の保護者に対する支援の現状と今後の対応は。

答 現状の支援については、医療的ケア児が通う障害児通所事業所で利用する児童が家庭の事情により通所することが困難になった場合には、支援員が自宅に訪問し在宅支援を行うことで、必要な支援が途切れることのないように柔軟な対応をさせていただいています。今後の対応については、医療的ケア児が身近な地域で必要な支援を受けられるよう、関係機関のメンバーで構成された自立支援協議会のことも支援部会



公園の美化活動への参加を

その他の質問

●GIGAスクール構想について
●障害者手帳等の申請用診断書の作成料助成について

公園愛護会について

において、医療的ケア児のための方策について継続的に検討していき、障害児支援の充実を図っていきます。

問 愛護会の普及啓発の考えは。

答 現在、市の広報紙及びホームページにおいて、新規愛護会募集のお知らせを掲載していますが、今後更なる充実を図るため、緑化イベントにおいて活動状況を紹介するパネル展示ブースを設置、市のホームページ及びSNSにおいても活動写真を掲載するなど、積極的に愛護会活動の普及啓発を行っていきます。



公明党 手島 良市

問 PCR検査センター設置については

答 地元医師会に積極的に働きかけていきます

新型コロナウイルスに対応するPCR検査センター設置について

問 県は検体採取時の感染リスクが低い唾液を検体とした新方式の検査を、医療機関で広く実施の方向であるとのことだが、検査の有効な期間が限られるので従来型のPCR検査の必要性は変わらない。そこでPCR検査センター設置の条件はどのようなものか。

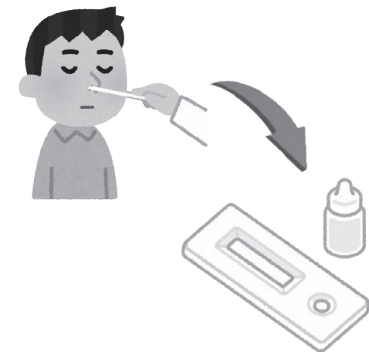
答 PCR検査は保険診療となることから、医療機関や医師会での設置が条件となります。

問 設置に向けた取組の現状、県との協議の状況は。

答 県内のPCR検査センターは、現在5か所、それぞれ県が地元医師会に委託して設置をしています。伊勢崎保健医療圏では、伊勢崎保健福祉事務所が伊勢崎佐波医師会に設置の働きかけを始めていますが、本市を含めた具体的な協議はまだ行われていません。今後、伊勢崎保健福祉事務所と事務的な打合せから始める予定です。

問 PCR検査センターは、開業医の判断で検査可能というメリットがあるが、設置について今後の見通しは。

答 伊勢崎保健福祉事務所管内のPCR検査数の5月の一日平均は約5件で



新型コロナウイルスPCR検査

その他の質問

●介護・障害福祉分野の対応について
●国民健康保険運営について

問 就学援助の考えは。

答 新型コロナウイルス感染症の影響により、家計が急変した方から相談があった場合には、個人の状況に応じ、柔軟に対応するよう、また、周知についても検討しているところです。

あり、PCR検査体制が、ひっ迫しているとは考えていませんが、今後予想される第2波の流行に備えるためにも検査体制の拡充は必要と考えています。伊勢崎保健医療圏へのPCR検査センターが、少しでも早く設置できるよう本市としても県と協力し、地元医師会に、積極的な働きかけをしていきます。



日本共産党議員団 長谷田 公子

問 障害福祉の相談窓口の一元化のメリットは

答 切れ目のない相談体制を提供できます

障害福祉サービス相談窓口の一元化について

問 現状は。

答 平成29年4月、障害の種別や年齢にかかわらずワンストップで相談を受けることができ、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として障害者基幹相談支援センターを障害者センター内に設置しました。

を強化したことにより、障害をお持ちの方や、家族等に対し、真に切れ目のない相談体制を提供できるようになりました。また、障害児の相談支援に関する知識と経験を有する相談員を新たに配置することで、障害者基幹相談支援センターが担う市内の相談支援事業所に対するバックアップ機能の充実につながっています。さらに、相談窓口を外部施設にある障害者基幹相談支援センターに一元化することで、市役所窓口の混雑緩和や待ち時間の短縮を図ることができました。今後も、障害者基幹相談支援センターの更なる機能の充実に努めていきます。

その他の質問

●新型コロナウイルスについて
●教育現場における新型コロナウイルス対応について



相談機能の充実を



問 新型コロナウイルスに関する情報発信は

答 適切に情報発信できるように配慮していきます

新型コロナウイルス感染症における市の対応について

問 情報発信が不十分と感じている市民が多いのだが現状をどう捉えるか。

答 市民の皆様への情報発信については、市のホームページでは、本年2月から注意を促すとともに、市民の不安を解消するため市長からのメッセージをはじめ、感染症予防の情報掲載し、さらに、拡大防止のため市のイベントの中止や施設の休館、市民及び事業者の皆様への支援策など目的別に整理し、最新情報として掲載に努めてきました。市の広報紙では、3月16日号から新型コロナウイルスの感染症防止対策について掲載し、注意喚起を行ってきましたが、県内での感染者が報告されたため、4月16日には号外を発行し、3密の回避や症状が出た場合の対応などを周知しました。その後も緊急支援助成金のお知らせ、市役所の窓口に行かずにできる手続、心身をリフレッシュする方法などの情報提供に努めてきました。さらに、本市にゆかりのある方々に御協力いただき、感染予防などの啓発動画の配信を通じて幅広い世代の方へ注意を呼び掛けてきました。

このように様々な情報媒体を通じて市民の皆様にお知らせしてきましたが、過度な情報発信が必要以上に不安をあ



会 志 高 橋 宜 隆

おることも考えられますので、今後も引き続き適切な表現方法や回数、タイミングなどに配慮していきます。

問 公共交通政策の継続は。

答 今後も継続して調査研究を行いながら、市民、交通事業者、行政が連携し、持続可能な地域公共交通ネットワークの確立を目指していきます。コミューティバスの再編案は、現行10路線の基軸を維持しつつ、境地区南部地域の増便等を実施するものとなっており、新たに新型コロナウイルス対策等についても地域公共交通会議で説明した上で、予定どおり本年度末の実施に向けて準備を進めていきます。

その他の質問

● 市政への取組について



市長の声を市民へ

問 医療用資器材生産企業への体制支援は

答 可能な限り側面支援を行います

新型コロナウイルス感染症について

問 感染者に関する公表基準は。

答 感染者の情報は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、県が感染者から聞き取りを行い、公開しています。このため、本市では県の情報を基に公表して、特に基準等は設けていません。

問 市民の生命を守る観点から、今後の情報公開の在り方をどのように考えているか。

答 新型コロナウイルス感染症陽性患者に関する個人情報の提供及び保護に関する覚書を5月8日に県と締結しました。これにより、感染者の情報が県から提供されることになりましたが、感染者の個人情報に十分配慮した上で、感染症予防対策に必要な情報が、どのように公表できるのか、検討していきます。

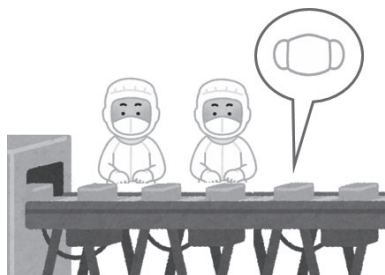
問 感染者情報の公表については、ある程度の情報は欲しいとの意見が多かったと思うが、新型コロナウイルス接触者確認アプリを導入して市民への情報の伝達に役立てる考えは。

答 アプリは大変便利かと思いますが、まずは、県も提唱している自分や家族の行動を記録することを推奨したいと

考えています。

問 製造業を中心とした本市の産業集積を生かしての、医療用資器材を生産する企業への体制支援は。

答 本市においても、マスクなど医療衛生資材が市民の皆様や市内の医療機関等に安定的に供給されることが望ましいと認識しています。こうした中、市内の大手衛生資材メーカーが、新型コロナウイルス感染症対策に伴う国の補助金を活用して、増産に向けた生産体制を整える検討をしていると伺っています。今後、医療衛生資材の生産に向け意欲的に取り組む事業者を、本市としても可能な限り側面支援を行い、市内産の製品が市民の皆様や市内の医療機関等に広く行き渡る方策について検討していきます。



医療衛生資材の安定的な供給を

問 規定時期を超えた予防接種への対応は

答 柔軟に対応していきます

今後の新型コロナウイルス対策について

問 妊産婦へマスク及び手指消毒薬を配布する考えは。

答 本市では3月末から妊婦へ15枚のサージカルマスクを配布し、国から本市に送られる布製マスクも毎月2枚併せて配布しています。産婦にはマスクを配布していませんが、今後の感染症の流行やマスクの流通の状況を注視し、配布について検討していきます。なお、妊産婦への手指消毒薬の配布は、現在入手が困難なため、まずは、小まめな手洗いの励行を周知していきます。

問 予防接種への対応は。

答 新型コロナウイルスに感染することを恐れ、定期予防接種を見送るケースが考えられます。接種のための受診による感染リスクが、予防接種を延期することによるリスクよりも高いと市町村が判断した場合には、規定時期を超えた接種でも、公費負担として取り扱って差し支えないとの見解が国から示されており、本市でもこのような相談があった場合には、柔軟に対応していきます。

問 文化活動の支援の考えは。

答 市民の皆様作品を発表できる場



会 志 高 橋 宜 隆

として、市民アートフェスティバルを11月に伊勢崎市文化会館で行う予定となっています。多くの方々に作品を閲覧してもらえよう展示作品を市のホームページへ掲載するなど新たな環境整備についても検討していきます。

問 水道料金の減免の考えは。

答 新型コロナウイルス感染症の影響による水道使用量の変化は、水道使用者によって異なることから、現状では水道料金を一律に減免することは考えていませんが、今後の状況を注視しながら、水道料金の減免の必要性を判断していきます。

その他の質問

● 真面目な職員が報われる人事評価制度構築について

● 学びの保障について



予防接種で感染症の予防を

問 消防職員の増員計画は

答 定年延長制度等を踏まえ総合的に判断します

消防職員数について

問 大きな災害が多発する状況の中、市民の命を守るために消防の果たす役割は重大であり、消防職員数は、消防力の基礎であると考え、国で定める消防力の整備指針に対しての職員数及び充足率は。

答 総務省消防庁で実施している昨年度の消防施設整備計画実態調査における本市の基準人員数は329人です。これに対して、現在の職員数は260人であり、不足数は69人、充足率は79.0%です。管轄人口10万人当たりの職員数は104人です。

問 県内他市の消防職員数、充足率、管内人口10万人当たりの消防職員数は。

答 前橋市が職員数419人、充足率78.8%、10万人当たりの職員数124人、高崎市等広域が464人、79.9%、114人、桐生市が216人、85.7%、133人、太田市が343人、70.0%、129人です。

問 本市の消防職員は基準人員数より少ない状況であるが、対応は。

答 消防力の整備指針では職員が各々の業務を専任として従事することが前提となりますが、実際の現場では兼務で対応しているのが実情です。近年、



多様な事態への対応を適切に

その他の質問

● 避難所の新型コロナウイルス対応について

消防の対応は通常の火災や救急のほか災害の対応が求められています。災害に十分対応できる適切な体制を築くよう改革していく必要があります。本市は兼務の隊が多く、災害に特化した専門的な知識や技術を要する専任隊の配置を視野に入れて、増員について、検討していく必要があると考えます。

問 消防職員の増員計画について、今後の方向性は。

答 近年、多様な事態への対応が消防にも求められていることから、定年退職後の再任用や国の定年延長制度の動向を踏まえながら、総合的に判断していきます。



会 志 高 橋 宜 隆

議案の議決結果

市長提出議案

議案番号	議案名	付託委員会	議決日	結果
53	伊勢崎市議会議員及び伊勢崎市長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例案	総務	6.25	●
54	伊勢崎市市税条例の一部を改正する条例案	総務	6.25	●
55	伊勢崎市都市計画税条例の一部を改正する条例案	総務	6.25	●
56	伊勢崎市手数料条例の一部を改正する条例案	建設水道	6.25	●
57	伊勢崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	経済市民	6.25	●
58	伊勢崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	6.25	●
59	伊勢崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	6.25	●
60	伊勢崎市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案	建設水道	6.25	●
61	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型の取得について	総務	6.25	●
62	災害対応特殊救急自動車の取得について	総務	6.25	●
63	市道路線の廃止について	建設水道	6.25	●
64	市道路線の認定について	建設水道	6.25	●
65	市道路線の変更について	建設水道	6.25	●
66	伊勢崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	経済市民	6.25	●
67	令和2年度伊勢崎市一般会計補正予算(第2号)	総務	6.25	●
68	令和2年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計補正予算(第1号)	文教福祉	6.25	●
69	令和2年度伊勢崎市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	経済市民	6.25	●
70	伊勢崎市小口資金融資促進条例の一部を改正する条例案	付託なし	6.25	●
71	人権擁護委員候補者の推薦について 高橋 操(豊城町)	付託なし	6.25	●
72	人権擁護委員候補者の推薦について 小野田 幸夫(寿町)	付託なし	6.25	●
73	人権擁護委員候補者の推薦について 茂木 裕代(野町)	付託なし	6.25	●
74	人権擁護委員候補者の推薦について 新井 幸一(東町)	付託なし	6.25	●

議員提出議案

議案番号	議案名	議決日	結果
4	市議会政務活動費の特例に関する条例案	6.25	○
5	新型コロナウイルス感染症に対応する保育所等の児童福祉施設職員への慰労金支給を求める意見書案	6.25	●

新型コロナウイルス感染症に対応する保育所等の児童福祉施設職員への慰労金支給を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた第2次補正予算が6月12日に成立し、医療・福祉の提供体制確保が重要な柱となっており、医療従事者等や介護・障害福祉施設で働く職員を対象に慰労金を支給することとなった。一方、保育所等の児童福祉施設については対象外としている。しかし、保育所等の児童福祉施設においても、医療・介護・障害福祉分野と同様に感染拡大時でも継続要請がなされ、感染予防対策を徹底しながらの運営に努め、感染リスクを負いながらも業務を全うしてきたことにより、社会機能維持のために必要不可欠な役割を担ってきたものと考えられる。よって、国会及び政府に下記の事項を強く要望する。

記

1. 保育所等の児童福祉施設職員へ慰労金の支給を実施すること。

※意見書については、国の関係機関に送付し善処を要請しました。

| 陳 情 |
・国際社会と連携して武漢ウイルス研究所等への査察を求める陳情（第2号/総務委員会へ送付）

本会議の様子を動画で視聴できます

伊勢崎市議会

検索

動画の内容は公式記録ではありません



常任委員会審査

本会議で常任委員会に付託された議案などについて慎重に審査を行いました。主な質疑及び結果概要は次のとおりです。

総務委員会

伊勢崎市市税条例の一部を改正する条例案

問 新型コロナウイルス感染症等に係る住宅借入金等特別税額控除の特例の適用要件について

答 新築の場合は、令和2年9月30日まで、分譲及び既存住宅の取得または増改築を行う場合は、令和2年11月30日までに契約を締結し、令和3年12月31日までに居住した場合に適用されます。

令和2年度伊勢崎市一般会計補正予算(第2号)

問 非常備消防対策事業における備品購入費の内容について

答 利根川を管轄している消防団に配備する予定のボート2艇及び排水ポンプ2基を購入するものです。

問 救急医療機器整備事業、新型コロナウイルス対応臨時交付金における備品購入費の内容について

答 オゾンガス発生装置6台を購入するものです。

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型の取得について

問 取得する車両の配備先について

答 北分署に配備する予定です。

結果 付託された6議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

文教福祉委員会

伊勢崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

問 家庭的保育事業等の現状について

答 現在のところ、市内において家庭的保育事業、小規模保育事業等の実施例はありません。

伊勢崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

問 特定地域型保育事業の具体的な内容について

答 地域の実情に応じて需要が増加傾向にある3歳未満の子供に対して認可定員が原則19人以下の保育を提供するもので、家庭的保育事業、小規模保育事業、事業所内保育事業及び居宅訪問型保育事業の4形態に分類された事業のうち、市町村から地域型保育給付費の支給対象と確認されたものです。

令和2年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計補正予算(第1号)

問 賄材料費の財源内訳について

答 4分の3は国庫補助で、4分の1を本市が負担し、そのうち8割は特別交付税として措置される予定です。

結果 付託された3議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

経済市民委員会

伊勢崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例案

問 自営業を傷病手当金の支給対象外とした理由について

答 時期により収入に変化があることで収入額の認定が困難であることや国の特別調整交付金の対象外であること等の理由からです。

問 支給対象外となる加入者に対する支援について

答 持続化給付金等の制度を勧奨したいと考えています。

令和2年度伊勢崎市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

問 傷病手当金2000万円の算出根拠について

答 傷病手当金支給対象者1人当たりの支給額を、7万8036円と見込み、本市の推計対象者数の最大値を、県内のPCR検査実施人数及びその想定濃厚接触者数並びに今後の感染増加率の予測等から254人と見込み、それぞれを乗じたものです。

結果 付託された3議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

建設水道委員会

伊勢崎市手数料条例の一部を改正する条例案

問 改正に伴い見込まれる効果について

答 建築物の省エネ性能の認定について、共同住宅等の共用部分を含めないなど、簡易な評価方法を利用できるようになり、省エネ化された戸建住宅や共同住宅のさらなる普及が期待できるものです。

伊勢崎市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案

問 農業集落排水処理施設の廃止により流域下水道に編入される区域における使用料の変化について

答 処理方法の変更後においても使用料は変わりません。

市道路線の認定について

問 認定理由及び総延長について

答 開発行為に伴う用地の帰属及び位置指定を受けた道路の寄附が主なもので、総延長は1429・69メートルです。

結果 付託されたら議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

顕彰受賞

6月9日、議場において永年在職特別功労議員顕彰式を行いました。
永年在職特別功労議員顕彰

市議会議員として、25年以上に及び市政の進展に尽力された功績を顕彰し、肖像画を議事堂内に掲揚しました。
また、市長から感謝状が贈られました。

● 定方英一氏



表彰受賞

6月25日、議場において全国市議会議長会表彰状伝達式を行いました。
議員在職20年全国表彰

● 定方英一氏

議員在職10年全国表彰

● 新井智氏

● 多田稔氏



● 馬庭充裕氏



07 一般質問って何をしているの？

議員が市の行政全般にわたり、市長等の執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する方針等について質問することです。
質問者数は、定例会ごとに14人を限度として、2日間の日程で実施しています。
質問者の持ち時間は、答弁を含め1人40分です。
発言回数は原則3回ですが、時間内であれば、議長の指名により認められます。

議会ってどんなところ？

シギカイの カイセツ

伊勢崎市議会のことについてわかりやすく解説します。



市議会政務活動費の特例に関する条例

市議会の議員の政務活動費について、次のとおり特例を定めました。

【内容】

令和2年7月1日から令和2年12月31日までの期間において、条例に規定する政務活動費の月額を50%減額するものです。

令和元年度 政務活動費収支報告

政務活動費の収支報告をお知らせします。
なお、ホームページでは四半期ごとに、支出状況報告書、会計帳簿、領収書、視察報告書を公開しています。



会派名	人数	会派支出額	政務活動費 交付額
伊勢崎クラブ	16人	7,220,645円	6,720,000円
公明党	3人	1,164,713円	1,164,713円
日本共産党 議員団	2人	841,045円	840,000円
平成クラブ	2人	827,796円	827,796円
有志会 (令和元年5月10日結成)	2人	702,233円	700,000円
いせさき未来	1人	427,713円	420,000円
正論の会	1人	472,501円	420,000円
こども未来	1人	204,059円	204,059円
翠晴クラブ	1人	418,223円	418,223円
政経会 (令和元年5月10日解散)	1人	89,957円	70,000円
共生会 (令和元年5月10日解散)	1人	26,415円	26,415円

次回定例会日程表(予定)

8月	28日 金	本会議
9月	2日 水	本会議
	3日 木	本会議(一般質問)
	4日 金	本会議(一般質問)
	8日 火	決算特別委員会
	9日 水	決算特別委員会
	11日 金	本会議
	15日 火	総務委員会
	16日 水	文教福祉委員会
	17日 木	経済市民委員会
	18日 金	建設水道委員会
	29日 火	本会議

スマホアプリ
「マチネロ」で
市議会いせさき
を配信中！



編集発行／伊勢崎市議会広報委員会・伊勢崎市議会事務局
今泉町二丁目410 ☎24-5111(代)
印刷／第一印刷株式会社